

淀川区

コロナ禍で始まった活動は、三密を避け予防に努め、徐々に再開しました。区学習会では映画鑑賞、暮らしの学習会ではSDGs継続の一環として昨年度は食品ロス、今年度は海洋プラスチック問題に着目し、ペットボトルのリサイクルをテーマに資源有効利用の大切さを学びました。



使う責任、海の豊かさを守る、住み続けるまちづくりのために今私たちが出来ることを今後も取り組んでまいります。

城東区 「活発な女性会をめざして！」

今年度に入り、ワクチン接種も進み、感染者数も少なくなり、ようやく明るい兆しが見えてきましたが、まだ予断を許さない状況に変わりありません。当女性会は「コロナ禍の中で明るく生きぬこう！」とテーマを決め3回の学習活動を計画しました。1回目は防災の研修にとりくみ、2、3回目は女性として、もっとおしゃれを楽しみたいと言う思いの入った内容にしました。女性会の会員が学習を通して、自分自身がそしてまわりの人たちが元気になることを願い、ますます活発な女性会となるように頑張っていきます。



得て、令和3年10月～令和4年2月まで実施することが出来ました。ステイホームで家庭での食事の機会が増えるとともに、食の大切さが再認識され、「減塩・無添加」の手作り味噌の講習会は今回も好評です。

阿倍野区 「コロナ禍に負けない学習会」

今年は、コロナ禍の為、計画通りの学習会が出来ませんでしたが、区役所職員の方に「食生活に潜む食中毒」と「健康な生活を送るために」の講演をしていただきました。また、海を埋め立て建築された関西空港の見学、そして和歌山の名勝片男波公園万葉館で「和歌」の学習を致しました。

11月には、区役所玄関に花を植え、来庁者の癒しになればと思います。

12月には各地域の学習発表会を開催いたしました。

市女性会会長としてご尽力いただいた吉村八重子さんが令和4年1月4日、逝去されました。生前のご功績に敬意を表しますとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。会員一同

東成区

東成区地域女性団体協議会は昭和25年に結成され、先輩諸氏に由来する、積極的な学習と実践活動を推進してまいりました。また、会員相互の親睦と地域住民との関係性を深める為、東成区女性会コーラス「コロ・ヴィーナス東成」が創設され、毎月第2第4金曜に活動しています。昨年度初めから、女性学習会を中心に活動を再開しようとした矢先、コロナ蔓延が伝えられ、すべての活動が制止されました。現在は、ようやく終息の兆しが見え始めました。来年度は、以前のような積極的な、時代に沿ったテーマを取り上げた幅広い分野の学習活動を行っていきたいと願っております。



鶴見区



鶴見区地域女性団体協議会の当年度の活動は、諸行事の中止により2回の女性学習会と「味噌づくり講習会」のみとなりました。学習会は、子どもたちの健やかな生活を願い、「里親制度」についての講演と、映画『いただきます』の鑑賞を行いました。又、長年継続している「味噌づくり」は鶴見区地域振興会の協力を得て、令和3年10月～令和4年2月まで実施することが出来ました。ステイホームで家庭での食事の機会が増えるとともに、食の大切さが再認識され、「減塩・無添加」の手作り味噌の講習会は今回も好評です。

住之江区

心身ともに健全であること、状況変化においても希望を失わないことを確信し、徹頭徹尾努力する現況です。教養を高め感性を磨き、実践活動を行う中で会話と思いやりを大切に、チームワーク力を構築しています。葡萄狩り研修では自然の恵みに感謝し、心潤い活力を得ました。アートビート参加では、区のさざぴー風船作りを楽しんでいただきました。講義では、メンタルヘルス（困難からへこたれず回復できる力）を学びました。これからも女性会は地域に密着し、明るい未来に向かって活躍の幅を広げていきたいと思います。



大阪市女性会だより

地域で輝く女性会

vol.7

厳しい冬を乗り越え、新たな学び、人とのつながりをもとう

情報図書コーナーなどの事業を通じて、10代から高齢の方まで、多くの女性たちの心のよりどころとなっています。

平成16年には、DVに苦しむ女性たちを支援しようと、他の女性団体、有志の方々とともに「夕陽丘基金」を設立し、地域での募金活動にも取り組んでおります。夕陽丘基金との連携で、デートDV防止のための啓発チラシを作成し、各区のご協力のもと、「成人の日記念のつどい」において新成人の皆さんに配布するという、若い人たちへの啓発活動も続けています。

また、市女性会は「大阪女性きらめき応援会議」の一員として、男女がともに仕事と家庭を両立できる社会をめざして、ワーク・ライフ・バランスの推進にも取り組んでおります。

最近では毎日のように、SDGs（持続可能な開発目標）が大きく取り上げられていますが、私たちの70年にわたる地道な活動が、これらの目標につながるものであったことを誇らしく思います。

市女性会を構成する各区女性会（14区）の活動報告についても2ページから掲載しております。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、活動規模を縮小しておりましたが、会員がそれぞれの地域で工夫して取り組んできた活動の様子をご覧ください。

2025年にはこの大阪の地で55年ぶりの万国博覧会が開催されます。1970年の大阪万博の折に、私どもの先輩である市婦協の女性たちが華やかに踊り、大阪万博を大いに盛り上げました。3年後の大阪万博の開催に向け、私たちも地域を支える女性団体の一員として、その機運を盛り上げていきたいと思います。

今年の干支は、「壬寅(みづのえ・とら)」だそうです。厳しい冬を越えて新しい命が誕生する年だとされています。長く続いたコロナ禍が収束することを祈りつつ、新たな学びや人とのつながりのなかで、この令和の時代にふさわしい私たちの活動を模索し、実践してまいりたいと思います。

令和4年1月
大阪市地域女性団体協議会 会長 前田 葉子

